

# 第1回 運動器理学療法 超音波フォーラム

2019/3/10 9:00~17:00

キャンセル待ち多数のため募集停止致します。

※250名限定 事前登録制



## イベント情報

### 第1回運動器理学療法超音波フォーラム Meetup 2019 in NAGOYA

大会長 林 典雄  
運動器機能解剖学研究所 所長

#### ご挨拶

歴史的に運動器理学療法領域における病態評価は、触診を中心とする身体所見を中心に置きつつ、機能解剖学、バイオメカニクス、生理学、病理学を組み合わせたながら統合することで行われてきました。卓越した運動療法技術は、確実に症例を変化させることを我々理学療法士は知っています。もちろん医師も患者も知っています。このように運動療法自体の有用性は皆が認めつつも、「何がどう変化したのか？」という問いに対して、明確な答えを提示することができませんでした。その根本的な原因は、運動療法技術を画像化する手段を持っていなかったことが挙げられます。

近年の超音波画像診断装置の画像精度の向上は目覚ましく、運動器理学療法分野で扱う組織は、ほぼすべて見ると言って過言ではありません。被曝もなく、機動性に優れ、画質が極めて良質なものとなった今、このツールを利用しない理由はありません。加えて、動態観察はもちろんのこと、エラストグラフィーを利用して組織硬度を客観化できるとなれば、今後は「運動器理学療法分野の画像化」を進める中心的な位置づけとなることは間違いないでしょう。このような背景のもと、運動器理学療法を専門とする理学療法士ならびに関連職種の方が、「超音波」をキーワードに議論するオールジャパンの場が必要であるとの気運が高まってきました。

この度、文京学院大学の福井勉先生、大阪電気通信大学の小柳磨毅先生、札幌医科大学の谷口圭吾先生、東北大学の村木孝行先生、中部学院大学の浅野昭裕先生、そして運動器機能解剖学研究所の林典雄が世話人となり、「日本運動器理学療法超音波フォーラム」を立ち上げる運びとなりました。そして記念すべき「第1回運動器理学療法超音波フォーラム」を、2019年3月10日（日）に名古屋で開催させていただきます。臨床技術を一歩進める超音波の応用報告、超音波の利用した運動器障害の基礎研究を通して、運動器理学療法分野の発展に寄与できればと思います。

第1回日本運動器理学療法超音波フォーラムのテーマは「さあ、一歩前へ!」とさせていただきます。すでに超音波研究を進めている方は「さらに一歩前へ」、これから始めたいと考えている方は「最初の一歩!」として、本フォーラムで情報交換していただきたく思います。特別講演には日本の運動器超音波を力強く牽引している、名古屋スポーツクリニック院長の杉本勝正先生と、城東整形外科診療部長の皆川洋至先生をお招きいたします。お二人とも日本整形外科学会超音波学会会長を歴任したビッグネームです。必ずや時代を一歩前へと進めるお話が拝聴できるものと期待しております。日本における運動器理学療法分野の研究が、日本運動器理学療法超音波フォーラムをきっかけとして活発になり、より良質な理学療法が提供できる情報交換の場として定着できるよう、皆様のご支援を心よりお願い申し上げますとともに、多くのご参加を心よりお待ちしております。

開催日時  
2019年3月10日（日）  
9:00~17:00

会場  
名古屋市立大学病院  
3階大ホール

キャンセル待ち多数のため募集停止致します。

参加費  
5,000円

## プログラム

※250名限定 事前登録制

- 9:25~ 開会の辞 担当世話人 挨拶
- 9:30~10:50 パネルディスカッション1 「超音波エコーを用いた動態評価と臨床応用」 指定演題 4題  
座長：中部学院大学 浅野 昭裕 先生
  - 演題1：「股関節深屈曲時痛に対する超音波動態観察と運動療法」  
名古屋スポーツクリニック 斉藤 正佳 先生
  - 演題2：「血行動態評価を中心とした胸部出口症候群のエコー検査」  
慶友整形外科病院 リハビリテーション科 井上 彰 先生
  - 演題3：「肩関節後方組織の動態と運動療法」（仮）  
（株）運動器機能解剖学研究所 林 典雄 先生
  - 演題4：「足関節外傷術後の超音波エコー観察と運動療法」（仮）  
土浦協同病院 リハビリテーション科 村野 勇 先生
- 11:00~11:50 特別講演1 「末梢神経から考える運動リハの新展開」  
講師：城東整形外科病院 診療部長 皆川 洋至 先生  
座長：文京学院大学 福井 勉 先生
- 11:50~13:10 昼休み
- 12:30~12:50 「超音波エコー解剖ハンズオン」（業者機器展示室）  
※「肩・肘・膝・足」の超音波解剖を解説
- 13:10~14:00 パネルディスカッション2 「超音波エコーによる組織弾性評価と臨床との接点」  
座長：札幌医科大学 谷口 圭吾 先生
  - 演題1：「慢性足関節不安定症における足関節周囲筋の筋スティフネスの特徴」  
北海道千歳リハビリテーション大学健康科学部 リハビリテーション学科 小林 匠 PT, Ph.D.
  - 演題2：「腱板修復術症例における肩甲骨面外転運動が棘上筋のスティフネスに及ぼす影響」  
医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院, 札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 神 善成 PT, MS
  - 演題3：「肩関節後方関節包の受動的なスティフネスの定量評価」  
札幌医科大学大学院 保健医療学研究科 飯田 尚哉 PT, MS
- 14:10~15:00 特別講演2 「肩・肘診療における超音波エコーの臨床応用」  
講師：名古屋スポーツクリニック 院長 杉本 勝正 先生  
座長：東北大学 村木 孝行 先生
- 15:10~16:30 パネルディスカッション3 「スポーツ障害における超音波エコー評価と運動療法」 指定演題 4題  
座長：大阪電気通信大学 小柳 磨毅 先生
  - 演題1：「大腿四頭筋の伸張方法による伸張部位の変化」  
大阪大学医学部附属病院 リハビリテーション科 木村 佳記 先生
  - 演題2：「UCL損傷に対する超音波エコー評価の臨床応用」  
横浜スポーツ医学科学センター 坂田 淳 先生
  - 演題3：「エコーを用いた膝関節前方不安定性の定量評価」  
大阪行岡医療大学 松尾 高行 先生
  - 演題4：「肩肘スポーツ障害に対するエラストグラフィの臨床応用」  
名古屋スポーツクリニック 福吉 正樹 先生
- 16:30~ 閉会の辞 第2回担当世話人 挨拶

## 交通案内

地下鉄桜通線（名古屋駅から）  
今池・新瑞橋・徳重方面行き（約16分）  
桜山駅（市立大学病院）下車3番出口

※駐車場はありますが、病院業務に支障が出ないように、可能な限り公共交通機関をご利用下さりますようお願い致します。



## 世話人 (五十音順)



浅野 昭裕 中部学院大学 看護リハビリテーション学部  
小柳 磨毅 大阪電気通信大学 医療福祉工学部 理学療法学科（四條眼科）  
谷口 圭吾 札幌医科大学 保健医療学部 理学療法学科 准教授  
林 典雄 運動器機能解剖学研究所 代表取締役  
福井 勉 文京学院大学 保健医療科学研究科 教授  
村木 孝行 東北大学病院 リハビリテーション部 主任

## 過去のイベント

## メール配信登録

最新のイベント情報をメールでお届けします。

お名前

メールアドレスを入力してください

配信登録